



すくすく

赤ちゃんの記憶

生まれた瞬間のこと

かねはら小児科 金原 洋治

当院の外来に通っていられている岡部夢瑠ちゃんが4才の誕生日の日に、お母さんにお話してくれた生まれた瞬間のお話です。約一時間半の間、夢瑠ちゃんがお母さんに眼を輝かせながらお話してくれたそうです。お母さんにしては最高のプレゼントですよ。お母さんが私にその感動を伝えて頂きまして、私も涙が出るくらい感動しました。皆さんにもその感動のお裾分けをします。お腹の中で破裂した。火花がパツンと鳴って顔に当たって痛かった。とても痛かった。火花が鳴ったからとても怖くて運動すわりで泣いた。でも涙は出なかった。火花が鳴ったから、お母さんが居なくなつたと思つて、悲しくて体擦すわりして泣いた。とても暗かった。とても熱くて火傷した。火花が当たって、血が一杯出た。火花が鳴ったから逃げようと思つて逃げた。逃げようとしたらズツと火花が付いて来たので怖かった。逃げたら頭から血が出たから、先生が拭いてくれた。頭から全部先生が拭いてくれた。お口も全部、お尻からも出して拭いてくれた。お足が痛かったから(右足)。先生がテープを巻いてくれた。

『足首』

私達の周りで起こる様々な出来事を、私達は何才位から記憶として頭の中に留めているのでしょうか。人によって違いますが、2〜3才位から



と1つ方が多いのではないのでしょうか。皆さんは誕生した瞬間の出来事を覚えていますか?。ほとんどの人は覚えていないと答えると思います。ところが夢瑠ちゃんのように胎児期の出来事や誕生の瞬間を記憶している子ども達が現実存在しているようです。インターネットで調べてみると、かなりの数の報告が見つかりました。横浜市の産婦人科医の池川明先生の報告では、1才6ヶ月から6才の子どもをとお母さんにアンケート調査をしたところ、なんとびっくり胎児の記憶を持っている子は52%、生まれた瞬間の記憶を持っている子も41%もいたそうです。他の調査でも10〜30%という報告があります。今後、私も実際にそのなかを調べてみたいと思います。聞き出すチャンスは親子でゆとりとしている時、自分の気持ちを話すことが出来る2〜3才の子が一番良く覚えており、それより年齢が上がると忘れてしまつたそうです。皆さんも、是非子どもさんに聞いてみてくださいね。

夢瑠ちゃんのお話は、小児科医としても興味深いお話でした。今までどこかで、このように話を聞いたような気はしていましたが、ここまで克明に、しかも直接聞き出したことはいりませんでした。赤ちゃんの記憶について勉強するきっかけを作つて頂きました。夢瑠ちゃんとお母さんありがとうございます。お母さんと夢瑠ちゃんに許可を頂き掲載させて頂きました。

一才のお誕生日プレゼントに 麻疹・風疹ワクチンを!

7月から当院では麻疹制圧のための取り組みを始めました。現在、日本の小児科医全体がこの運動を始めています。麻疹は、医療の進歩した現在でもかかると大変な病気です。肺炎や脳炎などの重い合併症を引き起こす確率が高い病気です。日本では、昨年一年間で、10〜20万人の人が麻疹に罹患、80人が死亡したと推計されています。アメリカでは、麻疹ほとんど制圧され、年間わずか100人位しかかかっていないようです。先進国ではほとんどの国がアメリカと同じような状況のようです。なぜ乳児死亡率も平均寿命も世界一で医療も最高水準の日本だけが麻疹制圧が出来ていないのでしょうか。それは、ワクチン接種率が極めて低いからです。ワクチンが豊富にあり、しかも無料でワクチンが受けられるのに不思議なことです。欧米では多くの国がMMRVワクチン(麻疹・風疹・おたふくかぜ)を2回受けています。接種率が高いので皆免疫を持っていますので、麻疹ウイルスが入り込む余地がないのです。

風疹も妊婦さんがかかると、赤ちゃんに重い障害を残す先天性風疹症候群を引き起こします。現在、風疹の抗体を持っていない若者が増えていますので、我々小児科医は心配しています。

赤ちゃんは、自ら進んでワクチン接種にはいけません。一才過ぎたら、お母さんからの誕生日プレゼントの1つとして、麻疹ワクチンを、一ヵ月後風疹ワクチンをプレゼントしましょう。又、7才6ヶ月までワクチンを無料で受けることができます。うち忘れていた方、受けたかどうか良く分からない人は母子手帳を確かめて下さいね。

日本外来小児科学会に出席しました



8月31日 名古屋国際会議場



院長が発表しました

思春期のプライマリケア

思春期の子どもの性教育について発表しワークショップにも参加してきました。小児科クリニックは赤ちゃんが多いのですが子ども達が高校を卒業するまでは、成長を見届けたいと思います。

(体・心・性の悩みなど何でもご相談下さい)



事務職員が参加しました

待合室の絵本

小児科の待合室は親と子が絵本のすばらしさに出会う大切な場所です。0才児にも絵本を読んであげることは言語を蓄積・記憶するなど、とても重要な役割を果たしているそうです。当院も色々な絵本との出会いのお手伝いをしたいと思います。



看護師が発表しました

待ち時間・待合室の工夫

小児科クリニックでは待合室・待ち時間の対策に様々な工夫が行われています。

当院ではソフトコールを導入して、院内感染予防および感染不安の解消、安心して待てる場所と時間の確保をしていることを発表しました。

他にもグリーンケア・三才児神話・育児支援などのワークショップに参加し、全国の小児科スタッフと情報交換をしました。

一日休診をいただきご迷惑をお掛け致しましたが、有意義な時間を過ごす事が出来ました。

有難うございました。

10月からポリオワクチンが始まります

接種期間：10月1日～11月中旬(木・土を除く)
時 間：1回のみ 12時15分から

15分前までに母子手帳を持って、受付にお越し下さい。

来院前に自宅で熱を測っておいて下さい

注 意： 服用後30分位は指しゃぶりやおしゃぶりや飲食を避けて下さい。
服用した日のお出かけはやめてゆっくりとして下さい。
入浴はしてもいいです。
服用して4週間を過ぎてから、次の予防接種が出来ます。
服用後、異常な症状(高熱・吐く・けいれん等)がある時は、速やかに医師の診察を受けて下さい。



電話予約受け付けています。

休診・代診のお知らせ (平成14年10月～12月)

10月3日(木)午前	代診	口羽先生	就学相談会のため
10月10日(木)午前	代診	口羽先生	就学相談会のため
10月15日(火)午後	代診	口羽先生	山口県メディカルサポート研究会
11月30日(土)午前	代診	口羽先生	中国四国小児科学会
12月5日(木)午前	代診	口羽先生	就学相談会のため
12月12日(木)午前	代診	口羽先生	就学相談会のため

ご迷惑をおかけしますが宜しくお願い致します

11月23日は 救急当番です。



みかんちゃんの一コマメモ

ママ・パパ
タバコを吸わないで

タバコを吸う本人が吸い込む煙よりも、そばにいる人の吸い込む煙の方がずっと有害ですよ。

子ども気管支炎・喘息発作・中耳炎などの原因になります。

子どもの知能の発達が劣ります。

子どもの身長伸びが悪くなります。

喫煙者の母乳からもたばこのニコチンが検出され、これを飲んだ赤ちゃんにも中毒症状が起こります。

(不眠・嘔吐・下痢・哺乳量減少など)

先天異常・早産・流産・死産・分娩異常などの危険性が高まります。

乳幼児突然死症候群の原因に……。

成人後の発がん率が高くなります。

大切な赤ちゃんを守る為に禁煙を!

編集後記

今回から、ももプリンさんより替わって編集後記を担当します『半熟ラ・フランス』です。彼女に負けず劣らずな私ですが、一生懸命努めたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。

